

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	肉用牛肥育素牛導入緊急対策事業					開始年度	平成20年度	
基本目標	活力ある農業の振興					終了年度	平成22年度	
担当課(局)	産業振興課	担当係	農林畜産係	記入者	新名 修	評価者	長町 信幸	
21年度決算	410	千円	22年度予算	500	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,437 千円		22年度人件費	1,457 千円		事業従事者数	0.20 人	0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	配合飼料価格高騰や枝肉相場の下落に伴い、厳しい経営状況にある肉用牛農家の支援を図る。
事業の内容	町内で生産された肉用牛肥育素牛を導入した頭数に10,000円を乗じて得た額。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 補助頭数	肥育農家の支援、これによる相乗効果としての繁殖農家の支援
	2 補助利用者数	要綱の趣旨に“経営支援”を謳い、補助利用者数は定めていない。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 事業実施勧奨回数	農協の協力を得、セリ時等事業対象者に事業実施勧奨
	2	
3		

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	補助頭数	目標値	30	100	50	
		実績値	16	41		
		達成率	%	53.3%	41.0%	
	補助利用者数	目標値	人	6	7	3
		実績値		3	3	
		達成率	%	50.0%	42.9%	
	0					
活動指標	事業実施勧奨回数	目標値	回	16	100	16
		実績値		16	16	
		達成率	%	100.0%	16.0%	
		0				
		0				
		0				

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	高鍋・新富が足並みをそろえ、20年度から実施している。この事業の成立は両町に対して肥育農家から陳情があった経緯があり、事業を廃止した場合、町に対する信用失墜が懸念される。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	厳しい経営状況にある肉用牛農家の支援が図られた。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	両町で金額を統一しているため、削減は困難。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	特になし

事務事業名	肉用牛肥育素牛導入緊急対策事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-----------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	肉用牛の価格安定及び宮崎牛として銘柄確立の為には必要な事業と考える。また肉用牛生産農家の所得向上にも資すると考える。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎繁殖農家の経営助成につながっていると考える。 ◎口蹄疫対策事業との兼ね合いもあるので、見合わせながら計画をしっかり立て、方向性を検討していただきたい。 ◎平成22年度で終了とのことであるが、平成23年度以降の事業継続の可能性はないのか。
	コスト	現状維持	